

## 令和 5 年度実施事業報告及び予定について

### ● 1. 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

採択事業：5 事業（詳細別紙一覧のとおり）（資料 1-1）

1 2 月 1 4 日 中間報告交流会 開催 （資料 1-2）

≪今後の予定≫

～3 月 3 1 日 事業実施

4 月 1 日 報告書の提出

4 月 3 0 日～5 月 7 日 ガレリアかめおかにて成果報告貼り出し

5 月 7 日～5 月 1 4 日 市役所エントランスホールにて成果報告貼り出し

5 月上旬 各事業結果に対する評価・アドバイスを委員の皆様や審査員から  
いただき、団体へ通知します。

### ● 2. ふるさと亀岡まちづくり応援事業 令和 5 年寄附募集結果

令和 5 年 1 月 1 日～1 2 月 3 1 日まで寄附を募集しました。

寄附実績に基づく交付限度額を上限に令和 6 年度に交付金を交付します。

### ● 3. 市民活動推進フォーラムの開催（資料 1-3）

3 月 2 4 日ガレリアかめおかにて開催予定。

令和5年度はじめてのまちづくり活動応援プログラム（亀岡市支えあいまちづくり協働支援金）  
申請事業概要一覧

| NO | 申請団体名              |              | 申請事業名                            | 実施対象                              |                                | 設定課題（地域課題）   | 事業内容  | 目標   | 総事業費<br>(円) | 交付決定額<br>(円) |
|----|--------------------|--------------|----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|--|---|--|-------------|--------------|
|    | 代表者名               | 実施期間         |                                  | 実施対象                              | 実施期間                           |  |   |  |             |              |
| 1  | かめたんレザミ<br>tetote  | 代表<br>川水 有衣  | ママの輪プロジェクト                       | 亀岡市、南丹<br>市                       | 令和5年4月1日<br>～<br>令和6年3月31<br>日 | ・子育て世帯へ向けたイベントや催<br>しが少ない、他の家族との交流が生<br>まれにくい、<br>・共働き世帯の増加によりワンオペ<br>育児に疲弊し、周囲と子育てに関し<br>て共有できない現状がある。  | ① 生後6ヶ月、1年前後の子どもを対象にした「パース<br>ナーイベント」の開催。<br>② 妊婦を対象にした、ワークショップや出産に関する勉<br>強会、参加者同士の交流会を行う、「ウェルカムベビ<br>ー」を開催。<br>③ 共働き世帯を対象に親子で体を動かす親子の絆<br>を深める「レゴブロックワークショップ」の開催。<br>④ 親子向けのワークショップ、親の息抜きのためのマル<br>シェを行う「アラスタスイイベント」の開催。<br>⑤ 子育て関係情報誌「tetote」の発行 | (1) 実施目標数値<br>①4回、各16組／②4回、各5組／③2回、各10組／④1回、40組／<br>⑤年2回発行、各1,000部<br>(2) 事業による変化、成果目標<br>・社会とのつながりが希薄になりがちな母親が、同じ子育て中の母親た<br>ちが主催する事業に関わることで社会復帰の後押しとなる。<br>・主観者（同じ子育て中の母親たち）の姿に勇気と元気をもらい、信頼<br>関係ができる。<br>・イベントに参加することで、孤独育児から脱却する。<br>・イベントを通して、他の子育て支援団体や行政、企業に興味を持ち、<br>相談先等の選択肢が広がる。<br>・子育てイベントが多数開催される都市として市外からの関心が高ま<br>り、来訪者が増加する。 | 200,560     | 118,000      |
| 2  | 青のたすき              | 代表<br>藤田 理恵  | 星空映画館&星空観察<br>会                  | 亀岡市青野小<br>学校区（東本<br>梅町、宮前<br>町）住民 | 令和5年5月1日<br>～<br>令和6年3月31<br>日 | R6.3に地域の小学校が閉校になるこ<br>とにより、校区となった自治会の住<br>民が一緒に活動する仲間がなくなり、<br>小学校を中心とした文化がなくな<br>ってしまふ。また閉校後の跡地利<br>用についても今後課題となる。この<br>2町を「おおの地区」と呼び、盛り<br>上げる活動の中で、小学校跡地を活<br>用したイベントで人を繋ぎ、跡地活<br>用の先例をつくる。 | (1)実施目標数値<br>イベント1回 参加者120名<br>運営側新規参加者目標 子ども5名、大人5名<br>(2)事業による変化・成果等<br>・親子や住民に思い出ができる。<br>・住民参加の取組がある魅力ある地域ということが地域内外へ発信され<br>る。<br>・今後の小学校跡地利用の先進例および議論が起こる契機となる。   | 206,460  | 150,000     |              |
| 3  | かめまる情報発信基地         | 会長<br>藤岡 美紀子 | スタジアムを核とする<br>亀岡活性化事業            | 対象地域：亀<br>岡市<br>対象者：亀岡<br>市民京都府民  | 令和5年4月8日<br>～<br>令和6年3月31<br>日 | 京都府民にとって大切な地域資源で<br>ある「サンガスタジアム<br>byVOCERA」の隣近でありながら亀<br>岡市民とスタジアムの心理的距離が<br>大きく、来場したことの無い人も多<br>いためスタジアム内に情報発信拠<br>点づくり（ラジオ放送）を目指した活<br>動を展開する。  | (1)実施目標数値<br>勉強会3回 各15名<br>フィールドワーク2回 各30名<br>(2)事業による変化・成果等<br>・「かめまる情報発信基地」の活動の目的や方向性を市<br>民・府民に周知することで、スタジアムの地域資源としての理解と愛着を<br>育む。   | 150,000  | 97,000      |              |
| 4  | Team DO IT!!!      | 代表<br>岡本 祐一  | ZENSHIMUラサキプロ<br>ジェクト            | 亀岡市民、周<br>辺市町村住<br>民、Jリーグ来<br>訪者  | 令和5年5月1日<br>～<br>令和6年3月31<br>日 | 高齢化が進み、若い世代が都市部に<br>流出し、耕作放棄地が目立ち始めて<br>おり、この流れを止めるためには若<br>い人たちが愛着や誇りを持つて何か<br>が必要。   | (1) 実施目標数値<br>イベント1回 各参加者 15～20名程度<br>イベント以外の有志による畑整備 5回（草刈り、すき込みなど）<br>(2) 事業による変化、成果目標<br>・亀岡への思いを持った人が増えて、人が「集まる」「帰ってきたい」ま<br>ちに変わる。<br>・イベント参加者・スタッフが、同じ思いをもつことでつながり、新たな<br>ものが創出される。   | 259,000  | 120,000     |              |
| 5  | 保津・むらカフエ<br>プロジェクト | 代表<br>中野 恵二  | 「竹切り狸」の竹林を<br>考える、ほんぼこプロ<br>ジェクト | 保津町を中心<br>に町内、町外<br>の住民           | 令和5年5月5日<br>～<br>令和6年3月31<br>日 | 保津町は昔から貴重な夏の産物と<br>して有名だが、利用頻度が低くなり<br>放置された竹林が景観を悪くしている。  | (1) 実施目標数値<br>竹林整備の調査研究 5回 各5名<br>ファミリー向けイベント 3回 各10名<br>スタッフなどによる竹林整備 2回×各5名<br>(2) 事業による変化、成果目標<br>・竹を生活に活用していた時代を学びやすくなる。デジタルな生活の素晴らしさを<br>知り、意識が変わり、環境に対する問題意識が生まれる。<br>・竹林整備により景観が改善し、郷土愛を持つきっかけになる。   | 159,000  | 115,000     |              |
| 小計 |                    |              |                                  |                                   |                                |  |   |  | 975,020     | 600,000      |

令和5年度はじめてのまちづくり活動応援プログラム  
(亀岡市支えあいまちづくり協働支援金) 中間報告・交流会 報告書

日時：令和5年12月14日(木)午後3時～4時30分

場所：市役所地下1階 開かれたアトリエ

出席者：青のたすき、Team D0 IT!!!、保津・むらカフェプロジェクト、  
かめまる情報発信基地  
まちづくり協働推進委員会(田畑、田部、京谷)、  
事務局(香川、西村)

欠席：かめたんレザミ tetote (事前に情報提供を受け、事務局から報告)

- 1 事務局から趣旨説明  
中間報告・交流会の趣旨説明
- 2 各団体からの活動の経過報告  
各団体から報告
- 3 意見交流

◆参加者からの意見・感想

【青のたすきに対する意見】

○仲間を一本釣りではなく公募で集めたことは、素敵だと思った。まさしく、まちづくりに必要な手法であるので、これからも続けてほしい。

【Team D0 IT!!! に対する意見】

○紫カフェは、常設のカフェか、イベント用のカフェどちらか。  
→単発で行っている。

○今年は、大学生も企画をされていることをお聞きしたかどうか。

→京都府「学生×地域つながる未来プロジェクト」で地域活動の体験をしてもらうため2名の大学生に参加してもらっている。大学生たちにも一緒に活動してもらい、収穫できたものを持ち帰ってもらおうと思っている。

ムラサキカフェは夏場は紫芋が収穫できたので、紫ポテトを作った。今回は、さつまいもがあるので、それを使って企画を考えており、2・3月に実施する予定である。

【保津・むらカフェプロジェクトに対する意見】

- 私は妖怪が好きなので、活動を注視している。亀岡には、妖怪が5種類いるので、横のつながりで村おこしができればよいと思う。(つるべおとし「曾我部」、そろばん小僧「西別院」、髪結び猫「西別院」など)
- 竹林散歩をされているが距離と時間はどれぐらいか  
→時間は1時間ぐらいであるが、ずっと歩いているわけではない。説明を受ける場所はいくつかあり、全体で1時間ぐらい。
- かめまる情報発信基地も健康体操などもしているので、健康でコラボできたらと思う。
- 他のNPOが保津町のマップを作成されているが、それを見ると色々で見どころがあり、1時間は苦ではないと思う。
- 青のたすきも東本梅・本梅・宮前町を中心にした生活情報紙を作成し、ホームページに掲載されている。

【かめまる情報発信基地に対する意見】

- フィールドワークの実施は市民に公募をされたのか。  
→そのとおり
- 公募はどのようにされたのか。  
→チラシの配布、市の広報誌やホームページに掲載。
- 活動自体に意味を持っていると思っている。スタジアムに意識があってスタートしているが、この活動自体スタジアムを意識しなくても良いと思う。  
→スタジアム内にコミュニティ放送を作って、地域の情報発信を行ったり、亀岡の農産物・食などの情報提供をする。
- コミュニティ放送にはこだわればよいが、スタジアムはプラス $\alpha$ の部分になると思う。事業名で「スタジアムを核とする」と付けてしまうと、スタジアムでなければならなくなる。しかし、活動の成果はもっと広いため、損をしている感じがするから、見直されたら良いと思う。見直しのきっかけとして事業内容をロジックモデルで物を考えればよいかと思う。
- それぞれの団体が地域の情報をまとめておられるので、それを「かめまる情報発信基地」が発信されれば、また地域がどんどん育っていくと思う。

○放送は始められているのか。

→まだである。サンガスタジアム内で探しているところである。

○イベントをされた内容をホームページなどに掲載されているのか？

→ホームページに掲載している。

○「こんなことが面白かったよ」とか、インターネットラジオなどでお話されている内容をホームページに載せれば情報発信できるのではと思う。

→この間、11月20日に出雲大神宮で行った研修会の告知を三条カフェで放送したら、それを聴いた方(京北町)が参加いただいた。

○ラジオ出演されたということだが、ネットで聴けるのか？

→録音されたCDはもらったが、ネットでは聴けない。

○著作権もあるので、三条カフェにかめまる情報発信基地のホームページに掲載しても良いか確認したらどうか。

○Team D0 IT!!!の活動でも地域のTV局が取材にきて、録画されたものをいただくが、広めるなど言われているので、結局もらってもどうしようもない。

#### ◆事務局から各団体に質問

SNSやホームページなどでイベントの告知をされて、人を集めることを目指しておられるが、情報発信の方法は色々あり、どのようなことに気を付けてされているかお聞きしたい。

#### 【青のたすきの回答】

HP、インスタグラム、Facebookをしているが、人を集めたいとき、集めたくないときで使い分けている。地域の中で周知したいときはチラシを配り、このような活動をしたというのをネットに載せていくことを今は重視している。ネットは、青のたすきの活動を知ってもらうことを大事にしている。

ローカルだとチラシの方が効果はある。SNSもフォロワーを増やして流せば来てくれると思う。

今は、チラシをメインにして、もう少し参加者が欲しいときはネットを使うようにし、報告の方を頑張ってネットに流している状況である。

自分のためにも、その都度ネットに流しておく、報告書を作るときにも役立つため、活動状況を頑張って流している。

【Team D0 IT の回答】

ホームページは持っていない。Facebook とインスタと X をメインに使っている。また、新聞社に売り込んだり、市に依頼してホームページなどに載せてもらっている。

しかし、自力だけで発信したらどうかを今試しているところだが、限られた方が参加している状況である。なかなか集客につながらないのが現実であり、どのように発信すれば人が集まるのか試行錯誤で行っている状況である。

○新聞によく掲載されているが新聞社自ら来られるのか？また、ZTV の取材は何かきっかけなのか？

→新聞は、記者にお願いすることもあるし、自ら来られることもある。ZTV は、市のホームページを見て来られている。

【保津・むらカフェプロジェクトの回答】

自治会にお願いをして回覧板を回している。団体のホームページはなく、個人のインスタと Facebook を使っている。Facebook のイベント案内は、ある程度効果がある。

新聞は自ら来られることはなく、こちらからお願いをしている。

また、竹きり狸に興味をお持ちの方は LINE に登録いただき案内を送ろうと考えている。現在、竹きり狸の「ポンポコフレンズ」を募集しており、4名の登録がある。こちらは無料で内容はまだないが、これから広げていく。

これから、有料で「ポンポコファミリー」を作っていこうと構想を練っているが、具体的にはまだ考えられていない。

【かめまる情報発信基地の回答】

情報発信は会の一員である吉中先生がほとんど行っている。年配の方は SNS が見れなかったりするので、そういう方を集めて SNS の使い方を勉強しようと考えている。私自身はアナログにチラシの配布をしているが、口コミで 10 人ほど集めている。事業を行った後にアンケートを実施しているが、次も参加したいとの回答が大半である。この様な方たちをどう取り込んでいこうか考えている。

会員全員が歩く広告塔になって広めていく。

○出雲大神宮で行われた事業に、高齢の参加者がおられ、退職後、京都の通信の大学に通っておられ、スクーリングでたまに京都に来られているみたいで、図書館でチラシを見られて、かめまる情報発信基地の事業に参加されていた。一人で京都を巡ることがないので、一度行ってみようと思われたようだ。関東在住の見ず知らずの人とつながることもあるのだと思った。SNS がメインになってきているところもあるが、チラシも有効であると感じた。何が正

解とかではなくターゲットによっては使い分けも大切である。  
ラジオを始められたら、ここにおられる方の情報をいち早く多くの方に伝えていただけたらと思う。

○広報の基本的な考え方として、SNS は使えばよいと思うが、ローカルで出会って SNS につなげるやり方、右肩上がりに増えるやり方の方が向いていると思う。少しずつ顧客リストが増えていくイメージで、アプローチできる先が年々増えていく感じがよいと思う。SNS がファーストタッチで増えていく都市部みたいには、ここでは無理があると思う。

○LINE の話があったが、京都市社協で関わったプロジェクトがあり、LINE の使い方講座を地域の住民向けに開催した。目的は LINE の使い方ではなく、ネタで寄せておき、本当の目的である防災関係の LINE グループに登録してもらうように仕向けた。そうすれば、参加者全員が LINE グループに登録され、どんどん増やしていけるため、大変効果的であった。今の活動とは一見関係なさそうな取り組みで寄せておいて、登録を増やす方法もありだと思う。

#### ◆参加者からの要望

【保津・むらカフェプロジェクト】

○保津の竹きり狸が住んでいそうな竹藪の近くに行けば、スマホから竹きり狸が出すという竹を切る音が鳴るといった仕組みをぜひ考えてほしい。  
保津町は随所に看板があり QR コードも付いているのでそれを読み込めば音が鳴るような仕掛けを期待している。

【Team DO IT】

○サンガスタジアムの 3 階廊下からチューリップアートを行う畑がぎりぎり見えそうだと思うので、廊下に足マークを付けて、Team doit の活動している畑はあちらみたいな案内をしてほしい。知らない人たちにも引き込めると思う。

→畑は見えそうで見えないようなところにある。

○直接見えなくても、あちらに Team DOIT!! が活動している畑がある PR をされてはどうかと思う。

○来年度の活動のための資金はどうされるのか。

→何年も補助金を受けているのでそこにはもう頼れない。どのように調達するかは考え中である。

○市民活動推進センターに相談に行くなど外部への相談はしているのか。  
相談をスタートさせて考える時期に来ていると思う。

4 事務局から今後の事務手続き等についての説明・質疑応答(事務局)  
分からないことがあれば、市民力推進課で相談を受けているので、早めに相談をしてほしい。

○報告書の書き方は、市民活動推進センターでも相談にのってもらえるのか。  
→ガレリアかめおかの3階に市民活動センターがあるので、そこでも相談に乗る。少しのことでもいいので、申請書とセットで関係書類を持参いただければと思う。





Come Together

# つながるフェスタ 2024

音楽、多文化共生、  
ボランティア活動・・・

いろいろなつながりと  
出会える特別なフェスタ！

2024.3.24 (sun)  
10:00 ~ 16:00

ガレリアかめおか  
入場無料・申込不要

## 第1部 民族舞踊パフォーマンス

13:30 ~ 1階 コンベンションホール

いろいろな国の踊りや華やかな衣装が魅力のエ  
ネルギッシュなステージを披露します。

協力：京都民際日本語学校



## 第2部 輝きコンサート

14:30 ~ 1階 コンベンションホール



ボーカル  
関本 泰輝

ピアノ ACOON HIBINO

ギター 岡本 博文

パーカッション 山村 誠一

ヴァイオリン 西村 泳子

温かい歌声と優しい表現力が魅力の20歳の車いすシン  
ガー関本泰輝さんは、幼い頃から歌が大好きで、歌手  
になるために活動されています。「僕の歌声を聴いて  
少しでも笑顔になってくれる人がいたらいいなあ。そ  
して、みんなが夢に向かって頑張ろうというきっかけ  
になったら嬉しいです。」  
そんな気持ちで歌う泰輝さんの歌声を、是非お聴きく  
ださい。

# かめおか市民活動推進センターイベント

## 市民活動フォーラム

12:30 ~ 14:00 2階 大広間

**演題：「どうする？これからの市民活動」**

市民活動のテーマや活動形態の変遷を学び、これから活動を続けていく上でどう意識や活動方法を変えていくべきかなど皆さまといっしょに考えます

**講師：早瀬昇さん**（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事長）

**参加料：無料**（申し込み不要、当日会場へお越しください）



## ステージ発表と展示

かめおか市民活動推進センター登録団体による発表と展示

**ステージ発表** 10:30 ~ 11:30 1階 ロビーギャラリー特設ステージ

**団体紹介ブース** 10:00 ~ 16:00 1階 ロビーギャラリー



## 物販とお楽しみブース

10:00 ~ 16:00 1階 工房・ロビーギャラリー

第三かめおか作業所がパンや焼き菓子などを販売。また、地域で育てた新鮮野菜も並びます。絵本コーナーや読み聞かせなど小さなお子様が楽しめる遊び場も予定しています。メダカすくい、占い、マッサージや手作りの雑貨販売などのブースが出店します。



## タイムテーブル

| 10:00                       | 11:00  | 12:00 | 13:00       | 14:00 | 15:00   | 16:00 |
|-----------------------------|--------|-------|-------------|-------|---------|-------|
|                             |        |       |             | 民族舞踊  | 輝きコンサート |       |
|                             | ステージ発表 |       | 市民活動推進フォーラム |       |         |       |
| かめおか市民活動推進センター展示、物販とお楽しみブース |        |       |             |       |         |       |

予定が変更になる可能性がございます。ご了承のほどお願い申し上げます。

主催者・お問い合わせ先

(公財) 生涯学習かめおか財団

亀岡市余部町宝久保1-1 ガレリアかめおか 3階

TEL: 0771-29-2701 FAX: 0771-25-5881 メール kikaku@galleria.or.jp

令和5年ふるさと亀岡まちづくり応援交付金 登録申請団体一覧表

| 開始年 | 申請団体名                       | 代表者名          | 申請事業名  | 登録希望期間        | 事業目的・概要   | 初年度寄附<br>目録額(円) |
|-----|-----------------------------|---------------|--|---------------|---|-----------------|
| R4  | AngelSmile21                | 代表<br>服部 貴博   | 障がい児・者と健常者の<br>交流を深め社会生活への<br>自立を支援する場づくり              | 令和4年～<br>令和6年 | (目的)<br>ダウン症児・者と保護者が心身に健康で幸せな生活を願うとともに保育・教育ならびに福祉の増進をはかることを目的とする。<br>(事業概要)<br>・勉強会および相談会 年1回、・保護者交流会による悩み相談 適時、<br>・健常者との農業体験を通じての交流 年2回、・行政・教育関係者や関係機関との意見交換会 年1回   | 283,000         |
| R4  | くらしゴトLabo                   | 代表<br>多胡 麻衣   | コンポストで地域と資源の<br>循環計画                                   | 令和4年～<br>令和6年 | (目的)<br>家庭ででた生ごみをコンポストを使って処理することで可燃ごみの量を減らしていく。亀岡ならではのコンポストを作ることでチャレンジしやすい環境を作る。またコンポスト→畑→直売所といったコミュニティコンポストを作ることで地域も循環。コンポストの情報が共有で横の繋がりを作る。子供たちにも早い時期から興味や理解を深めてもらう。<br>(事業概要)<br>親子コンポスト教室。夏/冬のコンポスト講座。<br>コンポストモニター。使いやすい段ボールコンポストの開発   | 215,000         |
| R4  | 特定非営利活動法人<br>NPO亀岡人権交流センター  | 理事長<br>杜 恵美子  | かめおか未来キッズ応援事業<br>ーこども平和食堂ー                             | 令和4年～<br>令和6年 | (目的)<br>世界のこどもと女性、避難民や難民の方々と亀岡を亀岡の農産物を通してつなぐ。戦争や虐待、差別や暴力で傷ついた経験をもつ人と支えになりたい市民を市内の観光資源を通してつなぐ。<br>(事業概要)<br>環境と平和に配慮したエアーキッチンの実施のための企画・準備、トラウマや多文化に配慮したツアーの実施のための企画、準備。  | 429,000         |
| R5  | 特定非営利活動法人<br>障害・高齢者就労支援センター | 理事長<br>熊本 真知子 | 椎茸スナック生産計画   | 令和5年～<br>令和7年 | (目的)<br>高齢化で農業離れが起きている地域の課題を、障害者と共に高齢者でもできる農業の6次化を目指す。<br>(事業概要)<br>椎茸スナックの加工をはじめの準備<br>地域に呼びかけを開始し、ともに生産する方を募集<br>令和6年度に試食会の開催(夢コスモス園ブースにて数種類の椎茸スナック試食会開催)<br>令和7年度にイベント開催(例年桂川イオンで行われる農福連携マルシェにブース出展、夢コスモス園にブース出展)<br>今後、地域マルシェなどで継続的な販売  | 480,000         |
| R4  | 一般社団法人<br>育ちとつながりの家ちとせ      | 代表理事<br>石田 千穂 | 不登校・引きこもり・発達障害等の<br>困りのある子及びその兄弟たちへの<br>支援活動の充実とその社会啓発 | 令和4年～<br>令和6年 | (目的)<br>①生きづらさを抱える人(不登校・引きこもり・発達障害等の困り)に対して、学習サポートだけでなく社会生活に必要なスキル、コミュニケーションスキル、周囲と関わり合うスキル等を地道に積み上げていく必要性を社会に知ってもらうこと。<br>②生きづらさを抱える人の家族も疲弊してしまうこと、兄弟たちに目を向けるような状態になりづらいを社会に知ってもらう。直接彼らのニーズを満たす支援を実施することで、家族全体をサポートする。<br>(事業概要)<br>スクールに通う子どもたちに支援員を増員し支援機会を掴みとり、子どもに必要な支援、関わりや環境を提供することで成長を促す。利用者全員の状態や気持ちの変化のアンケート調査を行い、事業の有効性を示すとともに、社会啓発につなげる。<br>スタッフが兄弟に関わる環境を作り保護者と共に彼らのニーズを満たし、尊厳を保ち生きていくことを保障する。 | 1,000,000       |
| R5  | 特定非営利活動法人<br>亀岡人と自然のネットワーク  | 代表理事<br>上田 稔  | 亀岡に棲むアユモドキなど希少生物の<br>普及啓発事業                            | 令和5年～<br>令和7年 | (目的)<br>亀岡市は関西の大都市圏と隣接しながらも多様な希少な生き物が数多く生息しており、その頂点にいるのがアユモドキの存在と言える。多様な生き物の存在と魅力について普及啓発活動を行い、自然との共生を担う人材育成の契機とし、ひいてはSDG'sの目標「陸の豊かさも守ろう」実現に資する。<br>(事業概要)<br>① 生き物紹介パネルの作成・・・アユモドキなど希少生物を紹介するパネルを作成し、学校や公共施設などで展示する。<br>② HP からの情報発信・・・親しみやすい絵や図などを交えた情報発信で普及啓発活動を行う。  | 150,000         |
| R4  | 特定非営利活動法人<br>プロジェクト保津川      | 代表理事<br>原田 禎夫 | 保津川環境保全と<br>地域文化の伝承                                    | 令和4年～<br>令和6年 | (目的)<br>様々な取組にも関わらず、依然大きな課題となっている河川環境の保全に対し、事業を通じて自分事として考える人が増え、環境保全や伝統文化の伝承に幅広い市民や企業、行政がかかわるようになることを目指す。<br>(事業概要)<br>保津川および支流域でのクリーン作戦。保津川筏復活プロジェクト。河川ごみ調査。市内小中学校での環境教育や川の文化を体験するイベントの開催。手作り環境フェスティバルの開催。   | 715,000         |